

## 工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

### 【工事事故(速報)発生状況】 (H21.12.31現在)

	12月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成21年度(今年度)	11件	78件	1人	32人
平成20年度(昨年度)	9件	68件	1人	37人

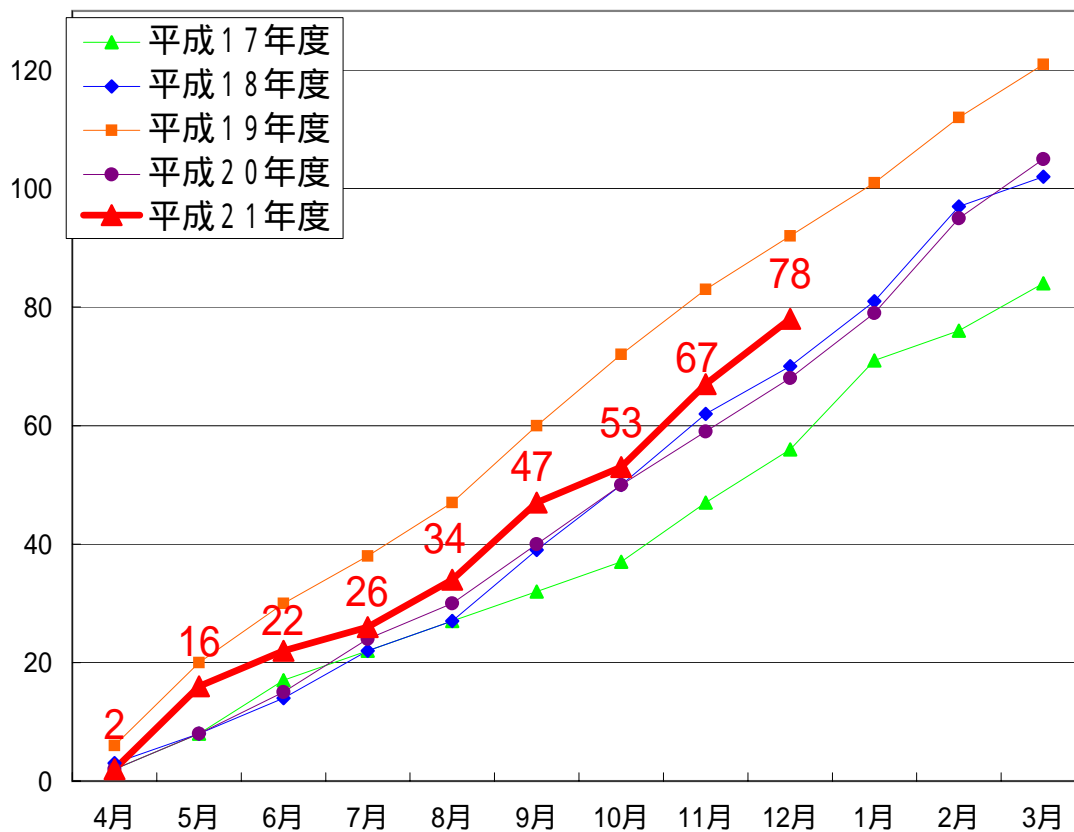
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

注2) 「12月発生件数」は、12/1～12/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～12/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～12/31の累計人数を示す。

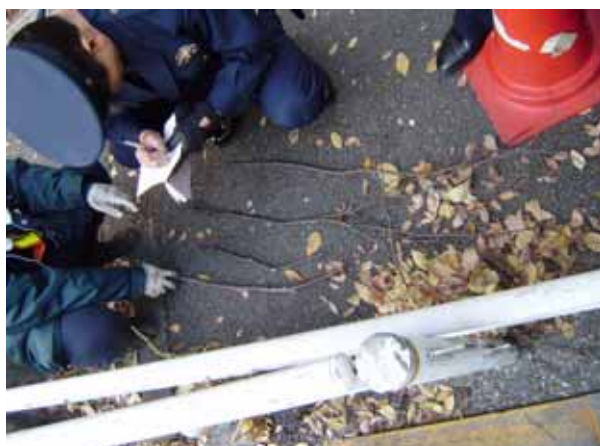
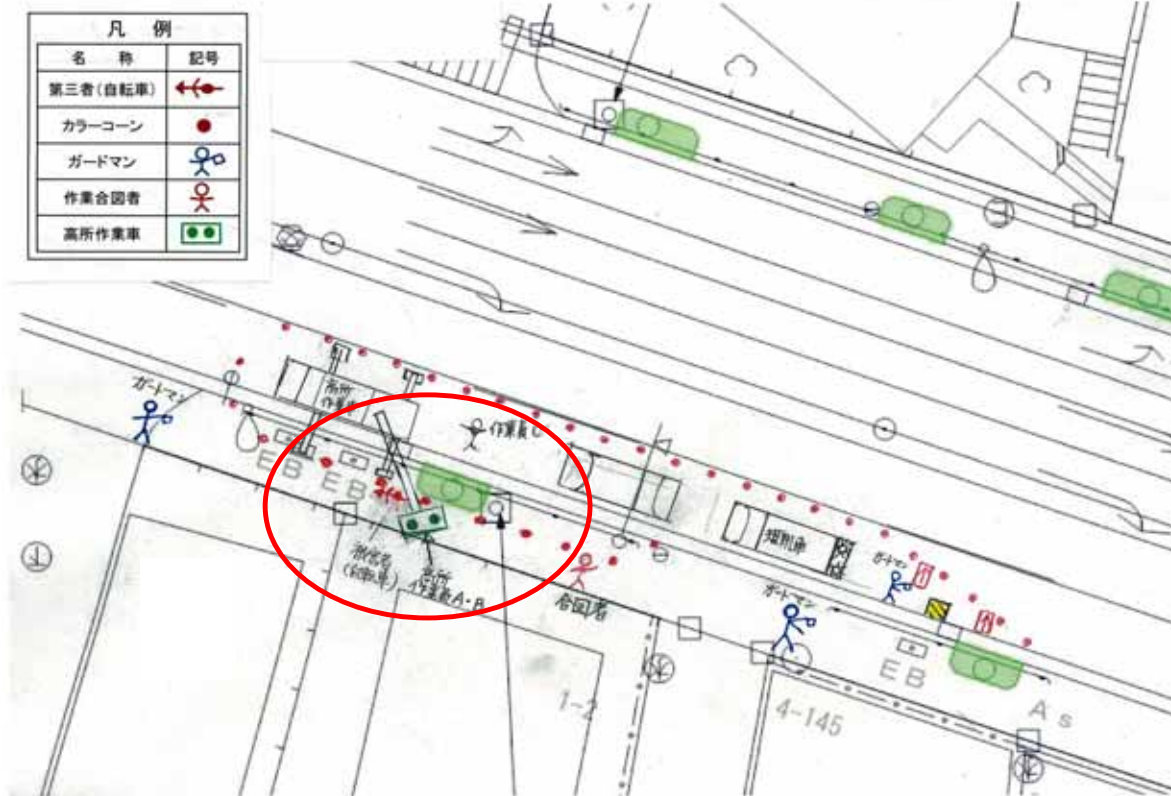
注5) 平成21年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先: 企画部 技術調査課 渡辺・平井 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 21 年 12 月 7 日 ( 月 ) 13 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	43	第三者	脳しんとう	
事故概要	剪定中の枝が落下し、自転車にて走行中の一般者に接触したもの。				

## 事故発生状況



・ケヤキの剪定作業中、小枝(長さ1m・径1cmの枝2~3本)が落下し、自転車にて通行中の第三者に接触した。  
 (本来、枝を切断している際は歩行者を通さないことになっていたが、作業員及び合図者の連携が不十分だったため、第三者を通行させてしまった)

### 【事故発生原因】

・通行人に対する工事関係者間の連携不足。

### 【事故防止のポイント】

・作業時における、第三者に対する安全管理について周知・徹底。 など

発生日時	平成 21 年 12 月 7 日 ( 月 ) 14 時 15 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	左上腕部骨折・左小指から中指裂傷	
事故概要	根固ブロック荷下ろし作業中、作業員がバックホウと根固ブロックに挟まれ負傷したものを。				

## 事故発生状況



・本工事で撤去した根固ブロックを対岸に運んで破砕する作業をしていた。

バックホウオペレータは、根固ブロックを降ろし、ワイヤーを緩めようとしてブームを下げた。

玉掛作業員はワイヤーをフックから外そうとして近寄ったところ、バケットと根固ブロックに挟まれて負傷した。



### 【事故発生原因】

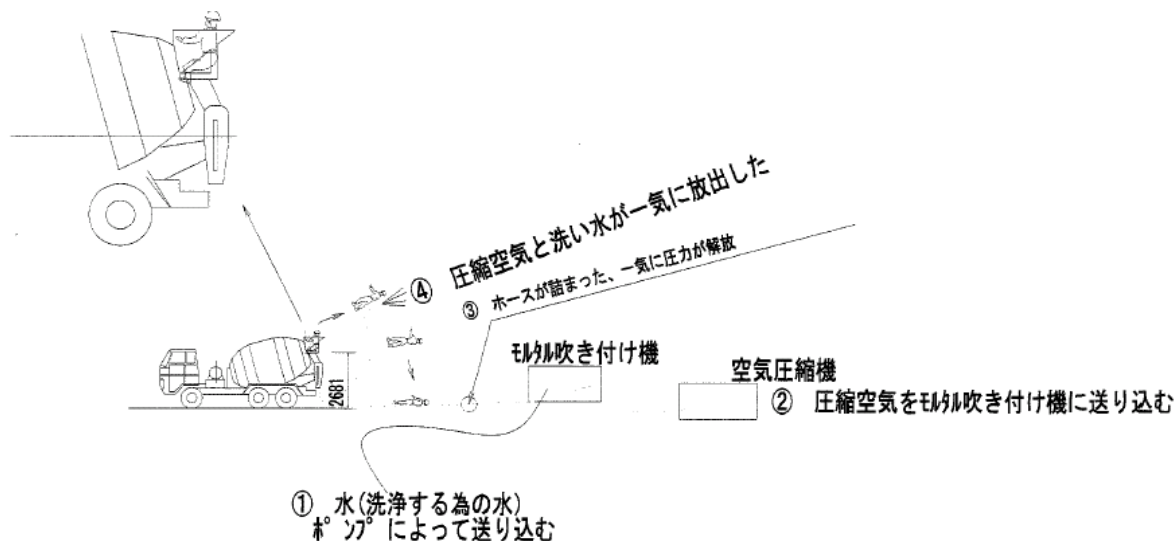
・重機稼働中に作業半径内に作業員が立ち入ったこと。

### 【事故防止のポイント】

・**重機稼働中、作業半径内には立ち入らない。**  
など

発生日時	平成 21 年 12 月 14 日 ( 月 ) 17 時 00 分		天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	右大腿部骨折・左足首骨折
事故概要	吹付ホースの洗浄水を生コン車に戻していた際、ホースが詰まっていたため、ホースが暴れ、作業員が生コン車から転落し負傷したものの。			

## 事故発生状況



・モルタル吹付終了後、ホースの洗浄作業を行っていた。  
 ・ホース内部に圧力を掛けて、水で洗い流そうとした。  
 ・被災者は、ミキサー車のホッパー口からホッパー内に吹付ホースを差し込み、フックで固定した。また、洗浄中のホースの動きを抑制するために、ホッパー口にて吹付ホースを押さえていた。(その際、安全带等の落下防止対策は行っていなかった。)

### 【事故発生原因】

- ・高所作業にも拘わらず、安全带の着用を怠った。  
(労働基準監督署より、是正勧告書及び指導票あり)
- ・作業帯ではない「ホッパー口」にて作業を行ったこと。

### 【事故防止のポイント】

- ・高所作業時の安全带の着用の周知徹底。
- ・生コン車のホッパー口など、作業帯ではない箇所では作業しない。 など



発生日時	平成 21 年 12 月 15 日 ( 火 ) 10 時 40 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	41	作業員	足首の裂傷(幅10cm、深さ2~3cm)	
事故概要	法面除草中に草刈り機が動いている脇を集草作業員がとおり草刈り機が当たって足首を負傷。				

## 事故発生状況(再現)



### 【事故発生原因】

・作業半径内に人が立ち入ったこと。

### 【事故防止のポイント】

・作業半径内の立ち入り禁止の徹底。  
など

発生日時	平成 21 年 12 月 18 日 ( 金 )	10 時 22 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 プレストレストコンクリート工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	49	鉄筋工	
事故概要	タワークレーンで単管パイプ12～13本を橋上から地上へ荷下ろし作業中、風であおられて荷が手摺りに接触し、吊り荷がバランスを崩し、単管パイプ全てが落下(約8.6m)し、地上で吊り荷を受ける作業員2名の内、1名の頭部に当たり、被災した。			

### 事故発生状況



単管パイプ吊り下ろし中  
吊り荷が風にあおられ、  
手摺りに接触

単管パイプが約8.6m落下

地上で作業中の作業員の頭上に落下して被災

**【事故発生原因】**  
・所轄警察署、労働基準監督署により捜査中

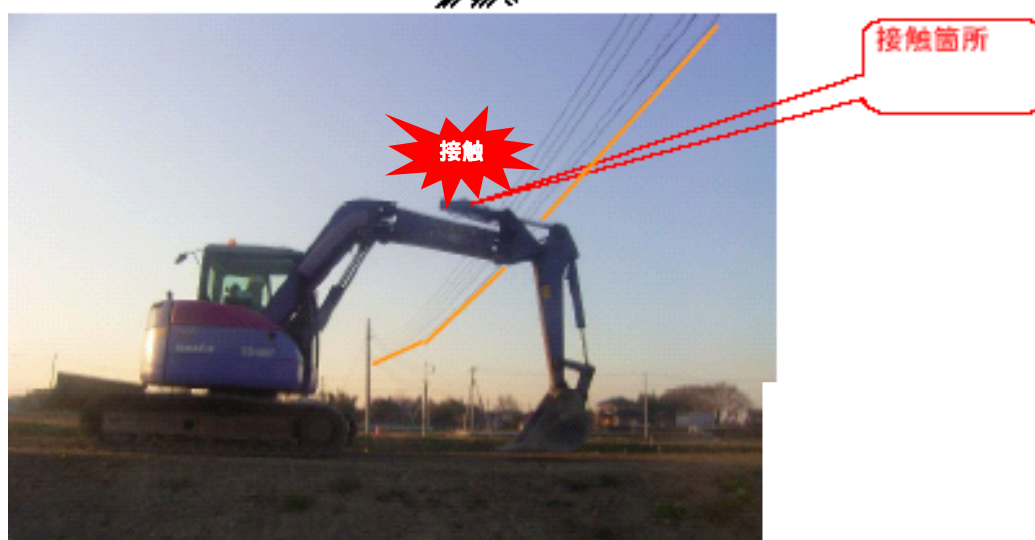
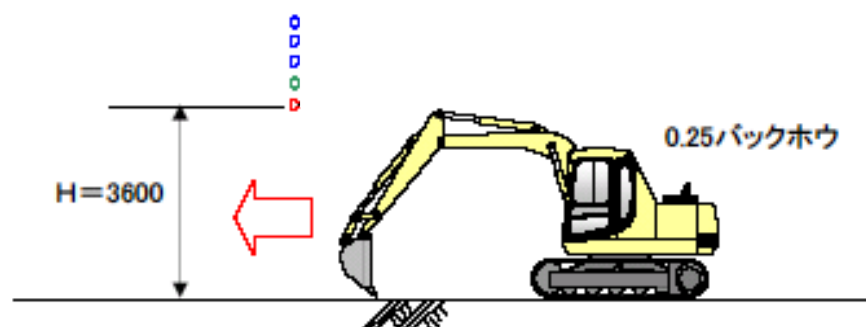
**【事故防止のポイント】**  
・関係法令(安衛則、クレーン則等)遵守の徹底  
・適切な玉掛け方法の実施  
・クレーンの慎重な操作  
・吊り荷下への立入禁止



単管パイプ12～13本が落下  
50mm L=1.3～1.9m

発生日時	平成 21 年 12 月 23 日 (水) 11 時 05 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	架空線(ワイヤーケーブル)切断	
事故概要	作業終了後、バックホウのアームを上げたまま走行し、上空の架空線に接触、切断させたもの。				

## 事故発生状況



・バックホウを用いて、保安柵の撤去・整地作業を行っていた。  
 ・作業が終わり次の場所に移るため、バックホウを反転し、移動しようとしたところ、アームが上空の架空線 (NTT線) に接触し、ワイヤーケーブル (本線を保護するための線) を切断した。

### 【事故発生原因】

・バックホウのアームを上げたまま移動したこと。  
 ・架空線に対する注意喚起 (三角旗等) を行っていたが、工期末が近づいていたため撤去してしまっていたこと。

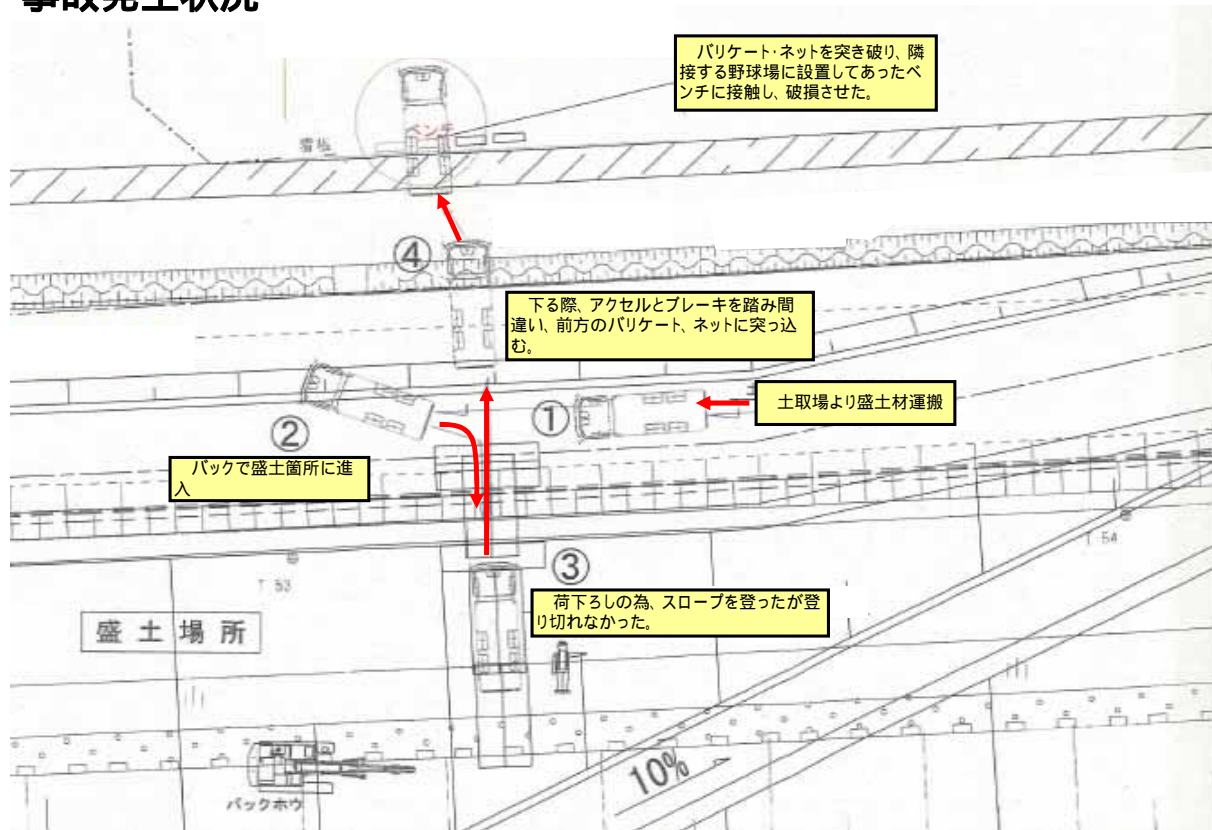
### 【事故防止のポイント】

・バックホウ移動時には「アームを下げ  
 て移動」の周知徹底  
 ・誘導員の適切な配置  
 ・目印表示の設置 など



発生日時	平成 21 年 12 月 24 日 ( 木 ) 10 時 10 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	67	ダンプ運転手	区所有のベンチ2基損傷	
事故概要	盛土を行うため、トラックにて法面上に登ったが、勾配が急だったため登り切れず、一度法面を降りようとした際、アクセルとブレーキを踏み間違え、隣接する野球場に突っ込み、ベンチを損傷させたもの。				

### 事故発生状況



**【事故発生原因】**  
 ・盛土箇所に向かう為の**スロープ**が急勾配(15%)だったこと。  
 ・作業に対する慣れがあった。

**【事故防止のポイント】**  
 ・作業に応じた安全上の注意喚起及び危険箇所の確認 など



発生日時	平成 21 年 12 月 24 日 ( 火 ) 11 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	NTT架空線切断(個人引き込み線)	
事故概要	バックホウにて整地作業中、上空の架空線(NTT)にアームが接触し、切断したもの。				

## 事故発生状況



写真



・掘削箇所の整地作業を行っていたところ、上空の架空線に気が付かず接触させてしまった。

・現場内の主たるところには架空線に対する注意喚起(三角旗・のぼり旗)を行っていたが、当箇所は行わなかった。

・整地作業中、誘導員はおらず、1人で作業していた。

写真



### 【事故発生原因】

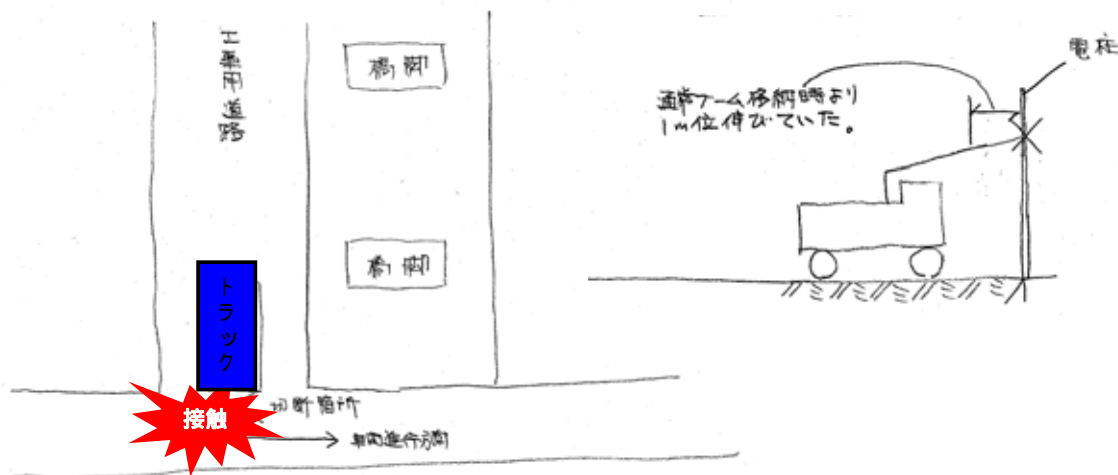
・架空線近接箇所で作業する際の安全対策が行われて無かったこと。

### 【事故防止のポイント】

・架空線近接箇所に誘導員を配置  
・作業前の周囲の安全確認 など

発生日時	平成 21 年 12 月 25 日 ( 金 ) 14 時 45 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	架空線切断 (NTT 電話回線 1 本、NTT 光ケーブル 1 本)		
事故概要	クレーン付トラックを現場外に搬出する際、ブームを完全にしまわずに走行したため、現場出入り口の架空線に接触し、切断したもの。		

### 事故発生状況



使用したクレーン付トラック

・トラッククレーンにて現場内に現場休憩所 (ユニットハウス) 及び仮設トイレを搬入するところだった。  
 ・現場休憩所を搬入し、仮設トイレを取りに現場を出る際、クレーンのブームを完全にしまわずに走行してしまったため、上空の架空線に接触し切断した。

**電話回線影響範囲 10 程度**  
**光ケーブル影響範囲 50 件程度**

#### 【事故発生原因】

- ・架空線近接箇所で作業する際の安全対策が行われて無かったこと。
- ・クレーンのアームをあげたまま走行したこと。

#### 【事故防止のポイント】

- ・「クレーン付トラックの走行時は、アームを下げる」の周知徹底
- ・走行前の車両点検 など

発生日時	平成 21 年 12 月 28 日 ( 月 ) 10 時 35 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	46	作業員	左親指切断	
事故概要	木工用のベビーサンダーを用いて、巻き立てコンクリート用型枠の加工中、サンダーの刃が左手親指に接触し、切断したものの。				

## 事故発生状況(再現)



- ・コンクリート型枠を作成するため、ジグソーを用いて、板を切断する予定だったが、使うべき機械が使用中だったため、木工用のベビーサンダー(写真)を用いて作業を行った。
- ・**本来は砥石で使用するものだが、刃先を替えて使用していた。**

### 【事故発生原因】

- ・本来使用すべき工具ではないものを使用したこと。

### 【事故防止のポイント】

- ・用途に応じた工具の使用を徹底する。 など